

事業実施者名	新潟県	人口	2,413 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	平成 18 年度 成人歯科保健推進事業 平成 19 年度 生活習慣病対策「口の健康チェック・指導プログラム」事業		
予算	【予算額】平成 18 年度 2,217 千円、平成 19 年度 1,530 千円 【予算分類】平成 18 年度 国庫補助 [補助率 10/10]、平成 19 年度 単独 【国庫補助・助成金事業名等】8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	平成 18 年度：全委託、平成 19 年度：直接		
特色のある点	・ 従来の直接健診ではない新たな健診方法を検討し、モデル事業を踏まえて、特定健康診査における歯の健康に関する検査として県独自に推進を図った点		
<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 成人歯科健診の今後のあり方や健診方法等について検討するとともに、普及のための手引きを作成し、地域や職域における成人歯科保健対策の一層の推進を図る。 特定健康診査・特定保健指導における「口の健康チェック・指導プログラム」事業を普及するため、市町村モデル事業を通じて、実施しやすいプログラム内容を検討する。 <p>【事業概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 開始年度及び終了年度（予定） 平成 18 年度開始、平成 19 年度終了 実施体制 平成 18 年度は新潟県歯科医師会に委託 その他の支援団体として、新潟大学、県栄養士会、新潟市、産業保健推進センター 等 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 40 歳以上の県民 内容 <u>平成 18 年度</u> 新潟県歯科医師会委託 今後の成人歯科健診・保健指導のあり方、健診方法等の検討 市町村及び事業所におけるパイロット健診事業の実施及び評価 特定健康診査への導入に関する手引書の作成・配布 「メタボリックシンドロームと歯や口の健康」 <u>平成 19 年度</u> 生活習慣病対策「口の健康チェック・指導プログラム」事業補助金により、3 市村においてモデル事業を実施し、普及に向けプログラム内容を検討した。 モデル事業を踏まえて、マニュアル等を作成・配布 <ul style="list-style-type: none"> 市町村向けの詳細な実施マニュアル書 「特定健康診査における歯の健康に関する検査実施マニュアル」 事業所向けの啓発パンフレット 「働く人のための歯や口の健康づくり」 50 人以上の従業員を有する県内の全事業所へ配布 			

5. 結果

- 受診者にとって受け入れのよい、効率的な新たな健診方法を検討し、モデル事業を通じて検証を行い、具体的に市町村や事業所に提示することができた。
- 今後、県として推進するため、特定健康診査における歯の健康に関する検査として健診実施要領に独自に位置づけ、さらに、詳細な実施マニュアル等を作成・配布し、市町村等の取組の促進を図った。

「メタボリックシンドロームと歯や口の健康」

普及啓発リーフレット



「メタボリックシンドロームと歯や口の健康」

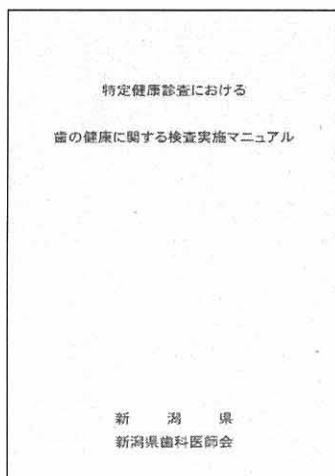
実施マニュアル



「特定健康診査における歯の健康に関する

検査実施マニュアル」

市町村向けの詳細な実施マニュアル



「働く人のための歯や口の健康づくり」

事業所向けの啓発パンフレット



【今後の課題】

- ・ 国の提示する特定健康診査には、歯の健康に関する検査項目が当初からオプション項目にすら含まれておらず、県独自で推進しなければ全く普及しない。歯の健康に関する検査を実施している市町村はまだ少なく、今後のさらなる普及が課題。事業所においてもほとんど実施されていない現状にある。
- ・ 特定健康診査における歯の健康に関する検査が、国のデータ管理システムや補助対象に入るよう、国レベルの働きかけが引き続き必要。

事業実施者名	新潟県	人口	2,413 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	健康・食育・噛むカム推進事業		
予算	【予算額】 平成 20 年度 6,636 千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	一部委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科保健と食育を連携させた事業であること ・ 食習慣の基礎づくりに最も重要な幼児期をターゲットにした事業であること 		
【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本県では、「新潟県食育推進計画」を平成 19 年 3 月に策定した。 ・ 「新潟県食育推進計画」では、幼児期を望ましい食習慣の形成のための基礎づくりとして位置づけ取り組んでおり、保護者を巻き込みながら効果的に実施できる場として、保育所をターゲットに事業に取り組むこととした。 ・ 保育所の歯科保健対策としては、従来から歯科健診、むし歯予防教室等を通じて歯の重要性について、啓発・普及を行ってきた。 ・ しかし、むし歯は明らかに年々減少しているが、偏食やよく噛まない等の食事の問題は減少せず、むしろ増えている傾向にあり^{注)}、その解決策としては、むし歯を防ぐことだけでなく、口腔機能、食環境及び食行動が影響していると考えられる。 ・ 望ましい食習慣の形成には、歯科保健との連携した支援が必要であると考え、食育と関連づけ効果的に推進するための具体策等は明確ではない。 ・ むし歯予防はもちろん、口腔機能と全身との関連、食事バランス及び生活リズムの形成等の推進に取り組む中で、どのような場面、アプローチによって効率的に普及、推進できるかを探る。 <p>注) 平成 17 年度乳幼児栄養調査結果から</p>			
【事業概要】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 開始年度及び終了年度 (予定) 平成 20 年度 2. 実施体制 県内 12 の県地域振興局健康福祉 (環境) 部のうち、管内の保育所で実施可能なモデル地区 (保育所) を選定し、行政 (食育担当・歯科保健担当)、保育所、家庭及び地域の企業等も巻き込みながら実施する。 3. 対象者 (ターゲットとする年齢、職業等) 保育所の園児、保護者及び保育士等 4. 内容 以下の(1)及び(2)の事業を実施した保育所の調査結果について集計・解析を行い、保育所、家庭及び地域等と連携した食育・歯科保健の推進方法の検討を行う。 			

(1) モデル保育所

ア 必須事業

- (ア) 口腔機能の測定（事前・事後）
 - ・ オーラルディアドコキネシス
 - ・ ガムによる咀嚼力の測定
- (イ) 評価アンケート（事前・事後）
- (ウ) 啓発用リーフレット等の配布
- (エ) 保育所での給食前の口の体操
- (オ) 事例集への掲載

（地域食育普及事業における食育推進事例集と併せて掲載）

イ 独自事業

対象地域機関毎に独自事業を計画、実施する。

(2) 対照群（保育所）

ア パターン①（必須事業のみ）

- (ア) 口腔機能の測定（事前・事後）
 - ・ オーラルディアドコキネシス
 - ・ ガムによる咀嚼力の測定
- (イ) 評価アンケート（事前・事後）

イ パターン②（必須事業のみ）

- (ア) 口腔機能の測定（事前・事後）
 - ・ オーラルディアドコキネシス
 - ・ ガムによる咀嚼力の測定
- (イ) 評価アンケート（事前・事後）
- (ウ) 啓発用リーフレット等の配布

5. 結果

平成 20 年度の事業のため省略

【今後の課題】

モデル地区の調査結果を踏まえ、保育所を中心とした取組の方向性を明らかにし、県内の地域・保育所でも効率的に実施できるよう検討したい。

事業実施者名	新潟県	人口	2,413 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	口腔機能向上ステップアップ事業		
予算	【予算額】 平成 19 年度 8,670 千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	一部委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防における口腔機能の向上を推進するため、県内の全市町村を対象に実地研修会を開催 新潟県健康関連ビジネスモデル推進事業^{注)}により開発した、全国発となる口腔機能測定機器「健口くん」を活用し、口腔機能の向上を推進 <p>注) 健康関連ビジネスのトップランナーの育成・輩出を目的として、県内の企業や地域の多様な組織が連携して取り組む先導的プロジェクトを支援する。</p>		
【事業目的】 <ul style="list-style-type: none"> 平成 18 年 4 月に、介護保険法に基づく予防給付及び地域支援事業が開始された。 被保険者が要介護状態又は要支援状態となることを予防することを目的として、特定高齢者に対する介護予防事業が市町村で実施されているが、全ての市町村で実施されているわけではなく、指定通所介護事業所等における予防給付についても取組が遅れている。 本県の介護予防事業を実施している市町村において、歯科専門職が行う集団口腔機能向上訓練及び口腔衛生指導を行った結果、特定高齢者の口腔機能の向上に効果があったとの結果がでており、県全体にも普及啓発する必要がある。 しかし、一定の評価の方法や具体的な訓練方法について、市町村によって差があり、簡単にできる評価・訓練方法の具体例等、効果的な方法を示す必要がある。 【事業概要】 <ol style="list-style-type: none"> 開始年度及び終了年度（予定） 平成 19 年度のみ 実施体制 実地研修会の開催及び実践ヒント集の作成は、(財)新潟県歯科保健協会へ委託 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 一般高齢者、特定高齢者、要支援者、要介護者及び関係する介護関係職員等 内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「口腔機能の向上」実地研修会の開催 市町村の保健センター等へ歯科衛生士を派遣し、担当職員等を対象に口腔機能の向上に関する研修を実施する。 <ol style="list-style-type: none"> ア) 口腔機能の向上プログラムの実際 イ) 個別計画策定及び評価方法等について ウ) 口腔機能の向上プログラムのための実践及び評価媒体の提供 			

(2) 「介護予防従事者向け実践ヒント集」の作成・配布

「介護予防従事者向け実践ヒント集」を作成し、市町村、高齢者施設及び関係団体等に配布する。

(3) 口腔機能測定機器「健口くん」の活用

「口腔機能の向上」の評価方法の簡素化・効率化を図り、事業を導入しやすくするため、県地域機関毎に「健口くん」を1台ずつ置き、管内市町村及び事業所等に貸し出しを行う。

5. 結果

(1) 「口腔機能の向上」 実地研修会の実施状況

市町村へ直接出向いて実地研修を行うことにより、地域の実情に即した実践的な内容となり、効果的な従事者の資質向上が図られた。

市町村数：30（34市町村中（新潟市除く））

参加者数：560人

(2) 「介護予防従事者向け実践ヒント集」の作成・配布

「介護予防従事者向け実践ヒント集」を作成したことにより、実施するための現場の体制整備が促進されることとなった。

7,500部作成・配布

配布先：県内市町村、県内高齢者福祉サービス提供事業者、関係団体等

「口腔機能アップ！元気なお口で寝たきり予防」

「介護予防従事者向け実践ヒント集」

口腔機能測定機器「健口くん」



【今後の課題】

指定通所介護事業所等における口腔機能の向上を推進するため、平成20年度は、県内5か所において介護関係職員に対する研修会を行う際、「介護予防従事者向け実践ヒント集」及び「健口くん」について説明、周知を行い、事業所等における取組を図っていきたい。

事業実施者名	富山県	人口	1,106 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	平成 19 年度 歯周病予防推進禁煙指導事業 平成 20 年度 歯周病予防推進禁煙指導強化事業		
予算	【予算額】平成 19 年度 800 千円、平成 20 年度 1,300 千円 【予算分類】国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	一部委託		
特色のある点	・ 歯科医療機関と医科医療機関との連携体制の整備		
<p>【事業目的】</p> <p>歯周病予防の推進のために、歯科医療機関を受診した喫煙者に対する情報提供、禁煙支援・指導體制を整備する。また、より専門的な禁煙指導を必要とする場合のために医科医療機関（禁煙専門機関）との連携体制を整備する。（平成 19 年度）</p> <p>歯科医療機関における禁煙支援強化のため、現状を評価、検討するとともに、県民への啓発・禁煙支援体制の強化を行う。（平成 20 年度）</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 19 年度、平成 20 年度 ※単年度毎に事業を実施</p> <p>2. 実施体制 県、富山県歯科医師会、富山県医師会、富山県歯科衛生士会</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 県民</p> <p>4. 内容 歯周病予防推進禁煙指導事業（平成 19 年度） (1) 医療機関連携体制整備検討会 (2) 禁煙支援歯科医療機関研修会（県歯科医師会委託） (3) 歯科医療機関と医科医療機関の連携のための資料作成 歯周病予防推進禁煙指導強化事業（平成 20 年度） (1) 歯科医療機関禁煙支援実施状況評価委員会 (2) 禁煙支援歯科衛生士研修会（県歯科衛生士会委託） (3) 禁煙支援歯科医療機関ステッカーの作成・配布</p> <p>5. 結果 <u>平成 19 年度実績</u> (1) 医療機関連携体制整備検討会 委員 6 名、2 回開催 (2) 禁煙支援歯科医療機関研修会 1 回開催、受講者 68 名 (3) 歯科医療機関と医科医療機関の連携のための指導用媒体作成 2 種類、700 枚</p>			

指導用パネル「タバコが口腔に及ぼす健康被害について」

表

タバコが口腔に及ぼす健康被害について

タバコは歯周病の大きな危険因子の一つです!!

【歯周病とは?】
歯の周囲の組織の病気で、多くの場合は歯ぐきからの出血などによって気がつきます。進行すると歯を支えている骨が溶け、歯ぐきから膿が出たり、歯ぐきが下がったり、歯が動くようになり、最終的に歯が抜け落ちてしまう病気です。

【タバコによる影響】
タバコを吸うとニコチンの血中濃度が高くなる数分間は、全身の末梢血管収縮が低下します。その時には歯ぐきの血管収縮も兼ねるため、歯周病に対する抵抗力が落ちてしまい、歯周病の危険性が高まります。また、出血が起こりにくくなるため、歯周病にかかっていることに気がつきにくくなります。

<タバコによる歯周病の重症例>



左の写真では、歯ぐきは腫れや出血がないため、腫れが熱いように見えます。これは歯ぐきの血液循環が悪いためです。しかし、そのままタバコを吸い続けていると、右の写真のように歯ぐきは退縮し、膿は漏出し、歯周病が重症化します。

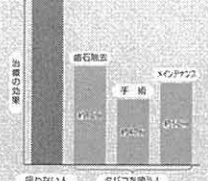
タバコを吸い続けた54歳の男性のレントゲン写真です。歯周病が重症化したために歯を支える骨がほとんどなくなっており、多くの歯が揺れています。残っている歯も抜くしかない状態です。こうなると思入れ歯にするしかありません。

富山県

裏

タバコによる歯科治療への影響

タバコを吸う人は歯科治療の効果を十分に発揮できません。
①歯ぐきの治療効果を100%とすると、タバコを吸う人は歯石除去では約80%、手術では約40%、メンテナンスでは約50%の治療効果が得られ、そのため、治療の回数は多くなってしまいます。
②歯を抜いたあとの傷口がうまくふさがらなったり、インプラント治療が十分に行えないなどの影響があります。
禁煙すれば、血液循環が維持され、歯ぐきに活力が戻ります。




禁煙すれば、血液循環が維持され、歯ぐきに活力が戻ります。


タバコは口腔がんの原因にもなります!!

口腔はタバコの煙が高濃度で直接触れる場所です。発がん物質のタールなどが含まれているので、がん病変である白斑や口腔がんの危険性を高めます。口腔がんの原因の約8割がタバコであるともいわれています。

<白斑症(前がん病変)>



<口腔がん>



禁煙すればタバコを吸い続けた場合よりも歯周病や口腔がんの危険性は低くなります。いつまでもおいしく食事ができるように、この機会に禁煙を考えてはいかがでしょうか?

富山県

指導用パネル「タバコが口腔に及ぼす影響について」

表

タバコが口腔に及ぼす影響について

タバコはがんや心臓病、血管の病気などの原因にもなることはよく知られています。タバコに含まれる有害な成分が歯肉に到達するので、お口の中にもいろいろな有害影響を及ぼします。

タバコを吸っていると歯が黒くなってしまいます



タバコに含まれるタールが歯に沈着し、黒くなってしまいます。また、タバコを吸うことにより、唾液の性質が変わり、歯石が付きやすくなります。

黒くなるのは歯だけではなく!!

タバコを吸わない人 タバコを吸う人



歯ぐきの色に注目してください。喫煙により、歯ぐきも黒くなります。

富山県

裏

口臭の原因になったり、入れ歯が黒くなったりします



口臭の原因の一つとして、舌苔があります。タバコを吸う人は、舌苔が付きやすくなり、タバコのおいしさと混ざり、自分で気づかずに舌苔が、口臭の原因になります。入れ歯の場合でも、タバコを吸うことで入れ歯が黒くなります。

禁煙すれば歯ぐきの色もよくなります



禁煙すれば、歯ぐきは健康的な色に戻ります。この機会に禁煙を考えたらどうですか?

富山県

【今後の課題】

平成19年度の「歯周病予防推進禁煙指導事業」だけでは、歯科医療機関から内科医療機関へ紹介された実績や連携体制における問題点がわからなかったため、「歯周病予防推進禁煙指導強化事業」を実施することとした。

事業実施者名	静岡県	人口	3,775 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	8020 推進員育成事業		
予算	【予算額】 平成 19 年度 1,130 千円、平成 20 年度 1,130 千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	全委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民参加型の歯科保健を目的としている点 		
<p>【事業目的】 住民参加型の歯科保健を進めるために、地域へ歯の健康に関する知識等を伝える 8020 推進員を養成する。</p> <p>【事業概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開始年度及び終了年度 (予定) 平成 13 年度開始 2. 実施体制 県歯科医師会へ委託 3. 対象者 (ターゲットとする年齢、職業等) 県民 (食生活推進協議会 (※本県のみで使用している名称のため注意) 等の健康づくりに関する団体や J A 等) 4. 内容 8020 推進員養成研修会の開催 5. 結果 <u>平成 19 年度実績</u> 8020 推進員養成研修会を 21 回開催。590 人受講。 <p>【今後の課題】 8020 推進員の活用</p>			

事業実施者名	愛知県	人口	7,186 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	歯周病対策ネットワーク推進事業		
予算	【予算額】平成 19 年度 1,579 千円 【予算分類】単独		
実施方法	直接		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> 県が方向性を示しながら、保健所が核となって管内の状況把握をした上で、歯周病対策を糖尿病対策やたばこ対策と呼応しながら事業展開をしている。 		
<p>【事業目的】</p> <p>歯周病対策を単なる歯科疾患対策として展開するのではなく、医療計画や健康増進計画の目標値達成のために、人材育成をしながら環境整備を図っていくことを目的として、特に、糖尿病対策やたばこ対策と連動して推進する。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 15 年度開始</p> <p>2. 実施体制 県として、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県病院協会、大学等関係団体と問題点の把握および課題解決のための方向性を検討し、大枠の方向性を保健所に示す。 保健所は、管内の市町村のやる気を引き出しながら、市町村健康増進計画の目標値達成に向けて、関係者とともに入材育成や体制整備を図る。</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 糖尿病対策との連動もたばこ対策との連動も、基本的には県民すべて。 (ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを同時進行させており、また、保健所の管内の状況にあわせて、オリジナルに事業展開をしているため)</p> <p>4. 内容 主なものを記載 歯周病対策と糖尿病対策の連動 医療計画を念頭に、糖尿病の方々の合併症管理体制を整える。具体的には、医師（看護師等）から合併症の一つである歯周病管理を勧めてもらい、その助言を受けた患者が歯科診療所に受診した際的確な対応ができるよう、その体制づくりを行う。また、一般的なこととして『糖尿病の合併症の一つに歯周病がある』ということについて市町村と共に積極的な普及啓発を図る。 歯周病対策とたばこ対策の連動 受動喫煙防止もあわせて、たばこの影響が口腔内にも及ぶことについて薬剤師会と協働して住民啓発を推進する。具体的には、薬局やスーパーの店頭で住民への啓発キャンペーンを実施したり、薬局の協力を得て、情報発信基地として来店者への日常会話の中でリーフレット配布、保健指導（教育）を行う。</p>			

5. 結果

歯周病対策と糖尿病対策の連動

- ・ 名古屋市を除くすべての地域で市町村の協力を得ながら施策展開方法について吟味することができた。
- ・ 医療連携を目指して、3つの地域で医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力を得ながら具体的な患者さんへの情報発信方法を検討し、実際に合併症管理体制を整えるに至り、情報の共有化を図ることができた。
- ・ 平成20年度からスタートした特定健診・特定保健指導の中に、歯周病に関する情報発信を積極的に展開してくれている市町村や企業が出てきた。糖尿病に限らず肥満との関連性についても積極的に情報発信されている。

歯周病対策とたばこ対策の連動

- ・ 平成18年度に実施した実態調査をもとに、薬局との連携をするための会議を名古屋市・中核市を除くすべての地域で開催することができ、どのように住民への情報発信をするかについて見当をすることができた。
- ・ 市町村が健康増進計画の中に「喫煙が歯周病にも影響することを知っている人の増加」について目標値を定め、住民啓発を積極的に展開する動きが出てきた。
- ・ 住民の声として「もっと早く、喫煙が歯周病にも影響する、という情報を知りたかった」という生の声が届いている。

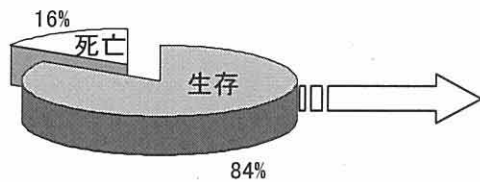
【今後の課題】

- ・ 糖尿病対策との連動は、まだ、始まったばかりなので、県内すべての地域で患者さんに有益な情報が行き渡るようにはなっていないため、今後、徐々に、関係者の協力を得ながら、できる地域から体制づくりを拡大していく必要がある。
- ・ 医療連携を図るには、診療に従事する医師と歯科医師が顔の見える関係を構築することが大切であるため、相互に勉強会を重ねながら気運を高めていく必要がある。
- ・ たばこ対策との連動は、まだまだ基本的な情報発信として歯周病治療時に徹底して情報発信が歯科診療所でなされているわけではないため、今後、足元の強化していく必要がある。
- ・ 糖尿病対策との連動もたばこ対策との連動もどちらもポピュレーションアプローチを徹底して弛まない努力の中で展開していくことを県・保健所・市町村の共通認識として推進していく必要がある。

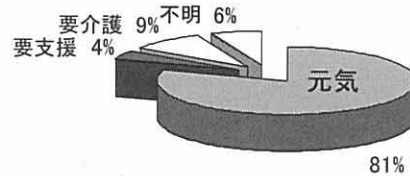
事業実施者名	愛知県	人口	7,186 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	8020 表彰者追跡調査事業		
予算	【予算額】 平成 19 年度 5,738 千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	一部委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> 県が方向性を示しながら、愛知県歯科医師会と協働して、8020 発祥の地ならではの 8020 表彰者の追跡調査を行い、次の展開を模索する事業 		
<p>【事業目的】</p> <p>平成元年度から愛知県歯科医師会が 8020 達成者の表彰事業を実施しているが、その表彰を受けた方がその後お元気でお過ごしであるか、愛知県が掲げる『活動的な 85 歳』を目指せるような方々であるかについて、追跡調査をすることにより実態を把握し、さらなる展開を模索する。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度 (予定)</p> <p>平成 19 年度開始、平成 21 年度終了予定</p> <p>2. 実施体制</p> <p>8020 表彰を受けた方の個人情報愛知県歯科医師会に帰属するため、愛知県歯科医師会に調査委託をして追跡調査を実施する。</p> <p>3. 対象者 (ターゲットとする年齢、職業等)</p> <p>8020 達成をし、8020 表彰を受けた者</p> <p>4. 内容</p> <p>愛知県歯科医師会が行う 8020 表彰を受けた方に対して、追跡調査を実施。</p> <p>平成 19 年度は、平成元年度、平成 13 年度、平成 14 年度に表彰を受けた者全員に対して調査協力依頼をかかりつけ歯科医を通じて行ったが、平成 20 年度は、表彰を受けた者のうち 85 歳、90 歳、100 歳になる方を抽出し、その方を対象に第一次調査として郵送による意思表示の確認をした上でかかりつけ歯科医による追跡調査を実施した。</p> <p>調査内容は、生存の有無、健康状態、食生活の状況、生活状況、歯に関する自覚症状に加えて口腔内診査を実施した。</p> <p>5. 結果</p> <p>調査対象者を調査年度で把握したため、現年齢にばらつきが生じ、県民にわかりやすいまとめが難しい状況となったため、100 歳、85 歳の 2 つの年齢に特化して結果をまとめる。</p> <p>平成元年度に 8020 表彰を受けた方が 100 歳で 2 名、調査協力が得られた。</p> <p>お一人は、自宅に住んでおり、自宅近くのケアハウスでご自身の趣味を堪能され、楽しい毎日を送られていることがわかった。また、もうお一人は、老人保健福祉施設に入所中であつたがお元気で、足腰は不自由な状況だつたがお口から食事ができていた。20 歯以上の維持も確認できた。</p>			

また、本県が『活動的な85歳』を目標としていることから、85歳で協力が得られた329名の状況は以下のとおり。

8020達成者の85歳の健康状態



生存されている方の元気度



また、食生活も豊かで、煮豆、炒め物、生野菜はもちろん、8割以上の者がイカの刺身や古たくわんを噛むことができ、何でも不自由なく食事を楽しんでいることが明らかになった。

さらに、329名の生活状況は、趣味を持っている者67%、かかりつけ歯科医を持っている者95%、たばこを吸わない者96%、間食を頻回しない者90%など快適な生活を過ごしていることが明らかになった。

【今後の課題】

今回得られた結果は記者発表したところ、多くの報道機関が記事として取り上げ、歯科界の新聞でも取り上げられた。今までにない貴重な情報が本調査によって得られた故であると考えられるが、今回の調査結果をもとに、より一層、わかりやすく歯の健康について広く県民に情報提供していけるよう、一過性のものとならないようにまとめあげる必要がある。

事業実施者名	三重県	人口	1,856 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	まちな保健室		
予算	【予算額】 平成 20 年度 638 千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	一部委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> 地域の商店街などに歯科衛生士が出向き、住民が気軽にお口の健康相談をできる機会を提供している。三重県歯科衛生士会、三重県看護協会、地域商店街の協働により実施している。 		
<p>【事業目的】 商店街等の住民に身近な場所で、自らの口腔の健康について気軽に相談できる機会を提供し、お口や全身の健康についての情報発信を行うことにより、住民の健康づくりを支援することを目的とする。</p> <p>【事業概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 開始年度及び終了年度（予定） 平成 19 年度開始、平成 21 年度終了予定 実施体制 三重県看護協会、地域商店街との協働により実施している。 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 地域住民 内容 <u>平成 20 年度</u> (1) 「歯の健康づくり得点」での口腔内の衛生状態の把握を通じたお口の健康相談の開催 開催回数：月 1 回、6 月～3 月 開催場所：三重県内の 5 地域の商店街 (2) 県民への健康づくりに関する情報発信 結果 看護師による、全身の健康相談と、歯科衛生士によるお口の健康相談をすることにより、住民が全身の健康を考えるうえで、お口の健康の重要性を理解し、地域の医療機関への受診につなげている。さらに、地域商店街との協働により、地域の活性化への貢献にもなった。 実施するうえで、食生活習慣や生活習慣などのライフスタイルを住民自らがチェックできる、歯の健康度得点を用いることにより、効率よく県民の健康づくりを支援することができた。 <u>平成 19 年度実績</u> <ul style="list-style-type: none"> 4 地域 平成 19 年 8 月～平成 20 年 3 月 420 名への歯科保健指導の実施 <p>【今後の課題】 今後は、まちな保健室において、栄養や運動の指導も同時に行い、住民の健康をトータルにサポートできる体制を検討していきたい。現在、衰退している商店街が多く、集客のための工夫や、広報が課題である。</p>			

事業実施者名	大阪府	人口	8,670 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	生涯歯科保健推進事業		
予算	【予算額】平成 20 年度 3,545 千円 【予算分類】単独		
実施方法	直接		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健所の歯科専門職（歯科医師、歯科衛生士）が皆無の状態、市町村等に対する専門的・技術的指導体制、地域歯科保健情報収集体制を整備 		
<p>【事業目的】</p> <p>市町村等に対する専門的・技術的指導体制、地域歯科保健情報収集体制を整備するなど、大阪府内の生涯を通じた歯科保健推進体制を充実させることにより、大阪府民の生涯を通じた口腔保健の維持向上を図ること。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 昭和 63 年度開始、終期設定なし</p> <p>2. 実施体制 大阪府による直接執行 平成 19 年度までは（社）大阪府歯科医師会へ委託</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 市町村等</p> <p>4. 内容</p> <p>(1) 生涯歯科保健推進協議会の開催 地域生涯歯科保健推進員：大阪府歯科医師会会員より、市町村毎（指定都市を除く）に選定。市町村等に対して専門的・技術的指導、情報収集を担当。 生涯歯科保健推進支援員：大阪府歯科医師会役員から選定。地域生涯歯科保健推進員に対する後方支援。</p> <p>(目的) 地域歯科保健推進活動及び二次医療圏歯科保健推進活動について協議し、その推進に努めること。</p> <p>(構成) 大阪府歯科医師会役員、大阪大学歯学部教授、大阪歯科大学教授、大阪府健康保険組合連合会役員、大阪府国民健康保険団体連合会役員、大阪府歯科衛生士会役員、大阪労働局課長、行政機関代表者、その他歯科保健に関係する者および会長が必要と認めた者</p> <p>(2) 地域生涯歯科保健推進員全体連絡会議の開催 地域生涯歯科保健推進員に対して、生涯歯科保健推進協議会の検討状況を報告するとともに、当該年度の重点目標、情報収集項目等の活動方針について検討</p>			

(3) 二次医療圏歯科保健活動支援会議の開催

地域生涯歯科保健推進員による二次医療圏内での相互情報交換及び問題点、市町村間の連携のあり方、今後の方向性、取り組みの優先順位等について検討

(4) 二次医療圏地域生涯歯科保健推進員代表者会議の開催

二次医療圏ごとに地域生涯歯科保健推進員の代表が集まり、圏域毎の先進事例の情報交換、圏域毎の課題及び連携のあり方について検討

(5) 地域生涯歯科保健推進活動

地域生涯歯科保健推進員が市町村等に対して視察（実情把握）、指導・支援、評価を実施

(6) 地域生涯歯科保健推進員支援活動

大阪府専門職職員並びに生涯歯科保健推進支援員による、地域生涯歯科保健推進員活動に対する支援

5. 結果

<事業実施効果>

1) 2歳代歯科保健事業実施市町村の増加：39市町村中35市町村で実施（H18）

う歯（むし歯）のない3歳児の増加：

61.7%（H11） 69.9%（H16） 80%（H22 健康おおさか21目標達成見込み）

フッ化物歯面塗布を受けた3歳児の増加

39.6%（H5） 50.9%（H17）（H22 健康おおさか21目標達成済）

2) 成人歯科健診実施市町村の増加：39市町村中38市町村で実施（H19）

都道府県別歯周疾患検診受診者数（保健所設置市を除く）

H18 13,034人（全国3位）

歯間部清掃用具使用者の増加（50歳）

17.8%（H5） 48.0%（H17） 50%以上（H22 健康おおさか21目標達成見込み）

進行した歯周炎有病者の減少（50歳）

46.9%（H10） 41.0%（H17） 33%以下（H22 健康おおさか21目標達成見込み）

3) 2)の結果としての8020（80歳で自分の歯20本以上）達成者の増加

15.3%（H11） 18.0%（H17） 20%以上（H22 健康おおさか21目標達成見込み）

【今後の課題】

執行方法に関する検討

事業実施者名	大阪府	人口	8,670 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	8 0 2 0 運動推進特別事業		
予算	【予算額】 平成 20 年度 13,500 千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	一部委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科保健医療関係専門職種と住民によるワークショップを開催し、課題・目的を両者で共有することにより、大阪府民主体で 8 0 2 0 運動を推進している点 		
<p>【事業目的】</p> <p>8 0 2 0 (80 歳で自分の歯 20 本以上) を早期に達成するためには、住民のニーズを的確に捉えて、歯科保健サービスを提供する必要がある。</p> <p>従来の調査用紙による方法では、郵送費・分析委託費等経費がかかるわりには回答が選択肢に左右されるなどの確な調査が困難であり、インタビュー方式による調査が推奨されていることから、地域の歯科保健医療関係専門職種と住民によるワークショップを開催し、課題・目的を両者で共有することにより、大阪府民主体で 8 0 2 0 運動を推進することを目的とする。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度 (予定)</p> <p>平成 15、16、17 年度：成人歯科保健の向上を目指し地域密着型、住民参加型の歯科保健事業を開発、実施し、かかりつけ歯科医への連携を促進した。</p> <p>平成 18 年度：地域密着型の歯科保健普及啓発事業の実施と併せて、6 つのモデル地域で、住民代表等の参加を得て地域における歯科保健推進上の課題等について、ワークショップ形式での会議を運営実施。</p> <p>平成 19～21 年度：住民主体の活動の活性化と歯科保健医療関係者との連携の強化・一体化の推進のため、歯科医師のファシリテーター能力の向上を図るとともに、地位でワークショップ形式での会議を運営実施。</p> <p>2. 実施体制</p> <p>(社)大阪府歯科医師会に委託して実施 報告書印刷のみ、直接執行</p> <p>3. 対象者 (ターゲットとする年齢、職業等)</p> <p>全府民への啓発を目的としている</p> <p>4. 内容</p> <p>(1) 8 0 2 0 達成支援会議の運営</p> <p>委員会の構成：大阪府歯科医師会、大阪府歯科衛生士会、学識経験者等</p> <p>検討項目：1) ワorkshop実施方法の決定 2) ワorkshop実施地区の調整、決定 3) 事業の全体評価</p>			

(2) 作業部会の設置運営

作業内容：1) ファシリテーター研修・講習の企画、実施

2) 啓発媒体、啓発紙の作成

3) 参加者事後アンケート調査の立案、集計分析

(3) ワークショップの各地域（24 地区）での実施

住民団体等の関係者と、地域の歯科専門職とが集まり、ワークショップ形式で歯科保健、口腔機能の向上に関する対話を行い、その結果を踏まえて、住民参加型の住民活動等の一環としての歯科保健啓発・指導・相談のモデル事業の在り方、充実方策を検討する。

(4) 8020 推進支援事業の報告書の作成

5. 結果

ワークショップ形式の会議で明らかになった口腔保健医療の普及向上に向けての課題

住民代表等の参加を得て開催したワークショップ形式での会議において、各地区それぞれに歯科保健知識・情報の普及の不足が指摘され、種々の情報発信施設・機構・機会間の有効な連携協力支援しあった活動の開発の必要性が提言された。

また、各個人個人が、身近な機会に、歯の大切さ、歯の健康を守ることの効用等を、我が事として理解することの必要性が指摘され、歯科保健医療専門職種側にも、情報提供の不足や住民主体の活動との連携不足が再認識された。

<事業実施効果>

1) 成人歯科健診実施市町村の増加：39 市町村中 38 市町村で実施（H19）

都道府県別歯周疾患検診受診者数（保健所設置市を除く）

H18 13,034 人（全国 3 位）

歯間部清掃用具使用者の増加（50 歳）

17.8%（H5） 48.0%（H17） 50%以上（H22 健康おおさか 2 1 目標達成見込み）

進行した歯周炎有病者の減少（50 歳）

46.9%（H10） 41.0%（H17） 33%以下（H22 健康おおさか 2 1 目標達成見込み）

2) 1)の結果としての8020（80歳で自分の歯20本以上）達成者の増加

15.3%（H11） 18.0%（H17） 20%以上（H22 健康おおさか 2 1 目標達成見込み）

【今後の課題】

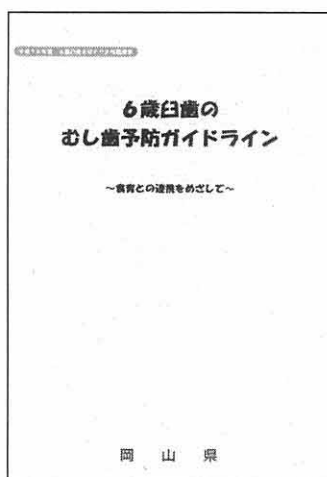
平成 22 年度以降の事業のあり方

事業実施者名	岡山県	人口	1,948 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	6 歳臼歯を守ろう大作戦事業		
予算	【予算額】 平成 19 年度 3,093 千円、平成 20 年度 2,577 千円 【予算分類】 国庫補助又は単独 ※当初予算は県単独で組み、国庫補助申請を行う。 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	全委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校関係者との連携強化 		
<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康おかやま 2 1 歯の健康目標の達成 (学齢期の目標 12 歳児の DMF T 減少) ・ 食育の取組を通じて学校保健 (教委、養護部会) との連携強化 ・ 教育現場で使いやすく、子どもにもわかりやすい教材の開発 (平成 17 年度 CD 「すすめよう学齢期の歯科保健」、平成 19 年度歯の健康手帳「6 歳臼歯はえたかな」、平成 20 年度歯の健康カレンダー手帳版「食べる、楽しむ、からだをつくる」) ・ 園児、児童を対象とした新たなむし歯予防の取組 (方向性の提示) 及び歯科からの食育推進支援のための指針作成 (平成 19 年度「6 歳臼歯ガイドライン」、平成 20 年度「歯科からの食育支援ガイドライン」) ・ 歯科専門職による歯科保健指導を経験したことのある者の割合の増加 <p>【事業概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開始年度及び終了年度 (予定) 平成 19 年度開始、平成 23 年度終了予定 (5 か年計画) 平成 18 年度までは「健口スマイルチャレンジ事業」として小学校に歯科衛生士を派遣 2. 実施体制 県、県教育委員会の連携 岡山県歯科医師会、岡山県歯科衛生士会へ委託 3. 対象者 (ターゲットとする年齢、職業等) 研修会 : 養護教諭、栄養教諭等 ブラッシング指導 : 園児及び小学校低学年 (主に 1~3 年生) 4. 内容 養護教諭対象の学校歯科保健研修会 (歯科医師会委託) 歯科衛生士の派遣によるブラッシング訪問指導 (歯科衛生士会委託) 毎年、30~40 か所の幼稚園・小学校に歯科衛生士を派遣 6 歳臼歯ガイドライン、教育媒体 CD、歯の健康手帳の作成 (歯科医師会、歯科衛生士会委託) 食育ガイドライン (歯科医師会委託) 			

5. 結果

- ① 開発したCD等を使つての歯科保健に取り組む幼稚園、小学校の増加
- ② 歯科衛生士派遣依頼件数の増加
- ③ 歯・口の健康づくり事業への積極的な参加
- ④ 県保健所を単位とした地域・学校保健連携による歯科保健研修会の開催
- ⑤ 歯科から虐待の早期発見に取り組むべく学校歯科検診項目に虐待の早期発見に関する項目を追加
- ⑥ 学校からの食育に関する健康教育の依頼件数が増加
- ⑦ より具体的な施策を打ち出すべく、既存の学校保健統計データに、新たな調査項目を加えた学校歯科実態調査を実施

6歳臼歯のむし歯予防ガイドライン（冊子）

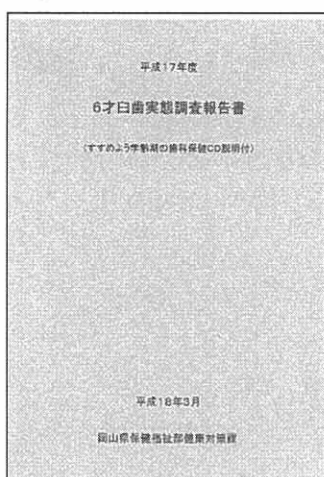


歯の健康手帳「6歳臼歯はえたかな」（小冊子）



6歳臼歯実態調査報告書

（すすめよう学齢期の歯科保健CD説明付）



すすめよう学齢期の歯科保健（CD）



【今後の課題】

- ・ 継続的な事業とするための単県予算の確保
- ・ フッ素洗口事業の検討（健康おかやま21ではフッ素洗口には言及していない）
- ・ 幼稚園、小学校を対象とする歯科衛生士の指導力強化、その人材の育成（歯科衛生士）

事業実施者名	岡山県倉敷保健所	人口	79 千人 (総社市 67 千人、早島町 12 千人) (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	管内歯科衛生士研修会		
予算	【予算額】平成 19 年度 44 千円 【予算分類】単独		
実施方法	直接		
特色のある点	・ 管内歯科医療機関、行政機関に勤務する歯科衛生士を対象に地域歯科保健に視点を於いた研修を行う。		
<p>【事業目的】</p> <p>管内市町における乳幼児や成人歯科保健事業は、管内歯科医院の歯科医師・歯科衛生士及び在宅歯科衛生士などの協力のもと実施されている。また歯科衛生士の資質向上のための研修会は日本・岡山県歯科衛生士会で毎年実施されているが、非会員には受講の機会がない状況にある。</p> <p>このような中、地域の歯科保健に関する地域診断を踏まえた「管内歯科衛生士研修会」を開催し、地域歯科保健の向上及び歯科衛生士の資質向上を図る。</p> <p>そのために管内勤務歯科衛生士に対して、乳幼児期・成人期の歯科保健指導の研修を実施し管内歯科保健の充実を図る。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 19 年度開始</p> <p>2. 実施体制 平成 19 年度は岡山大学歯学部との協力のもと講師の派遣を得た。</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 管内歯科医院及び管内市町の歯科衛生士、歯科保健関係者</p> <p>4. 内容 「3 2 5 運動」（岡山県独自の歯科保健目標 3 歳児のう歯罹患率を 25%以下にする）「8 0 2 0 運動」を推進し、地域歯科保健の向上を目標に乳幼児期・成人期の歯科保健指導の研修を実施する。</p> <p><u>平成 19 年度</u> 管内地域における歯科保健の現状と課題、「健康おかやま 2 1」における歯科保健目標 乳幼児期の歯科保健指導 成人期の歯科保健指導</p> <p>5. 結果 市町が行う乳幼児健診での歯科保健指導に歯科衛生士の積極的参加。 歯科医師が行う口腔診査の介助主体から、う歯予防等の保健指導主体の協力が得られた。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>市町が行う歯科保健事業の実施には、地域歯科医師会の理解・協力は不可欠である。</p> <p>地域歯科医師会と連携をもって地域歯科保健を推進していくために、平成 20 年度は、広域（岡山県西南部ブロック）での研修会に「8 0 2 0 運動」にも大きく関与する学童期の歯科保健を取り上げ、対象を広域管内歯科医師会・歯科衛生士・小中学校歯科保健関係者・市町歯科保健関係者とした。</p>			

事業実施者名	広島県	人口	2,864 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	歯科生活習慣病予防事業		
予算	【予算額】 平成 20 年度 2,035 千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	全委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 糖尿病やメタボリックシンドロームと歯周病の関連等について、最新の知見に基づいたパンフレットの作成及び歯科保健関係者への研修会を実施すること 		
<p>【事業目的】 歯周病は他の生活習慣病に悪影響を及ぼすリスク因子であることから、成人期の健康保持増進を図るための口腔ケアのパンフレットを作成するとともに、市町健康づくり担当者、歯科医師を対象とした研修会を実施する。</p> <p>【事業概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 20 年度のみ 2. 実施体制 広島県歯科衛生連絡協議会（構成団体：広島県、広島市、歯科医師会、広島大学）への全委託により実施 3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） パンフレット：特定健診・特定保健指導の対象者 研修会：歯科保健担当者（保健師、栄養士、歯科衛生士、歯科医師等） 4. 内容 歯・口の健康とメタボリックシンドローム対策について、科学的根拠をわかりやすく盛り込んだパンフレットを作成する。 また、市町健康づくり担当者、市町国保特定健診・特定保健指導対象者、歯科医師会会員、栄養士会会員への研修会を開催する。 5. 結果 平成 20 年度の事業のため省略 <p>【今後の課題】 なし</p>			

事業実施者名	徳島県	人口	806 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	食育推進事業		
予算	【予算額】 平成 20 年度 276 千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	全委託		
特色のある点	・ 歯科保健と食育を連携させた事業		
【事業目的】 人々の「食」をめぐる環境の変化に対し、人々が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育む食育を推進するために、「食べ方」を通じて生涯にわたって安全で快適な食生活を営むことを目的とした食育を歯科から支援する。			
【事業概要】 1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 20 年度開始、平成 21 年度終了予定 2. 実施体制 徳島県歯科医師会に委託。 歯科医師， 歯科衛生士， 食育担当行政機関， 教育委員会 等 3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 小学生 4. 内容 ライフスタイルに合わせた食育推進支援パンフレットを作成し， 県内小学校及び歯科医院に配布。食育の普及啓発を図る。 5. 結果 平成 20 年度からの事業のため省略			
【今後の課題】 なし			

事業実施者名	徳島県南部総合県民局 (阿南保健所)	人口	90 千人 (阿南市 79 千人、那賀町 11 千人) (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	糖尿病予防対策（歯周病との関連）における地域連携システム		
予算	【予算額】 平成 19 年度 484 千円、平成 20 年度 476 千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	直接		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 糖尿病予防対策として歯周病予防を推進した事業であること ・ 働き盛りの年齢である職域と連携させた事業であること 		
【事業目的】 徳島県の糖尿病死亡率は、平成 5 年から平成 18 年まで 14 年連続して全国ワースト 1 位という状況であり、徳島県において、糖尿病予防対策は喫緊の重要課題である。一方、歯周病は糖尿病を含めた生活習慣病のひとつに挙げられ、近年、糖尿病と歯周病の関係が重要視されている。 このような状況の中、阿南保健所管内では、平成 17 年度から市町における基本健診における耐糖能異常者を対象に、「糖尿病精密検査連絡票」を使用し、かかりつけ医による精密検査を行い、検査・指導・治療の継続による効果的な糖尿病予防システムの構築を図ってきた。 また、平成 18 年度からは、那賀町において、町と歯科医師会との連携により「歯科検査事後指導連絡表（糖尿病）」を用いた歯科精密検査（唾液潜血検査等）を実施し、かかりつけ医による継続指導・治療を実施している。 そこで、平成 19 年度からは、那賀町で実施しているシステムを阿南保健所管内の職域と連携し、働き盛りの年齢から歯周病予防および糖尿病予防の推進を図ることとした。			
【事業概要】 1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 19 年度開始、終了年度未定 2. 実施体制 保健所、市町、医師会、歯科医師会、商工会議所、事業所等 3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 働き盛り世代で事業所等に勤務している者 4. 内容 (1) 糖尿病予防対策における歯科保健連携体制の整備 歯科保健関係者会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科検査事後指導連絡票システムの実施状況 ・ 職域における歯と生活習慣に関するアンケート調査の報告 地域職域連携推進会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 8020 運動推進事業及び糖尿病予防対策の報告 ・ 今後の取り組みについて 			

(2) 糖尿病予防対策における歯科保健事業の推進

歯科保健関係者研修会の開催

- ・ 「生活習慣病と歯周病の関係について」

モデル事業所における健康教室・健康相談の実施

- ・ 歯科衛生士、管理栄養士、保健師等による講義や健康相談

生活習慣病と歯周病のアンケート調査

- ・ 阿南保健所管内の 20 事業所、2,669 人の従業員を対象に生活習慣及び歯科保健に関する実態及び意識調査を行った。

5. 結果

地域保健と職域保健の連携が図れたことで、8020運動及び糖尿病予防対策が推進できた。

働き盛りの年齢の歯及び生活習慣に関する関心や実態が把握でき、今後の保健指導等に生かすことができる。

働き盛りの年齢から、かかりつけ医による歯科保健の継続的な予防対策が可能となった。

歯科精密検査を実施することで、生活習慣病の意識付けができた。

【今後の課題】

- ・ 働き盛りの年齢から歯科保健に対する関心は高いが、継続的な健康管理ができていない。
- ・ 職域における歯科保健対策については、一部の事業所において実施されているが、広く推進していくことが重要である。

事業実施者名	香川県	人口	1,019 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	歯科保健食育推進事業		
予算	<p>【予算額】平成 18 年度 1,314 千円、平成 19 年度 1,774 千円、平成 20 年度 1,934 千円</p> <p>【予算分類】国庫補助 [補助率 10/10]</p> <p>【国庫補助・助成金事業名等】8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)</p>		
実施方法	全委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> 健康及び食に関係する団体との連携事業 歯科保健を食育推進活動の一環として位置づけた事業 		
<p>【事業目的】</p> <p>歯科分野を越えた新たな健康づくり活動による 8020 運動の普及啓発の機会や場を拓げるために、健康及び食に関係する団体とのネットワークづくりのための 8020 運営委員会（各種健康づくり関係団体との連携・協同体制）を設置した。その構成団体との相互連携による 8020 運動の実践的普及啓発活動の一つとして、食を通じた歯の健康づくりを目指して、歯科保健を食育推進活動の一環として位置づけた事業を、各ライフステージ毎に展開する。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 18 年度開始</p> <p>2. 実施体制 歯科医師会、歯科衛生士会、協力体制として栄養士会、食生活改善推進連絡協議会</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 小中学生及び養護教諭・学校栄養職員、成人、高齢者（※県の健康増進計画に基づく世代別に相当）</p> <p>4. 内容 テキスト（世代別）作成 テキスト作成委員会を設置し、食生活の基本方針、栄養目標、歯科目標等を定め、「健口生活メニューコンクール（15～17年度開催）」において入賞したメニューのレシピ等を含む歯科保健及び食生活の正しい知識の普及啓発のためのテキストを、世代別（年代別）に作成。 講習会（世代別）の開催 テキストをもとに、歯科医師による歯科保健・食育の講義、管理栄養士によるメニュー内容の解説と栄養学の講義、調理実習を含む講習会を開催。</p> <p>5. 結果 <u>平成 18 年度・19 年度実績</u> テキスト（世代別）作成 平成 18 年度 「健口生活メニューテキスト ～稔る世代編～」 （※稔る世代：65 歳～） 平成 19 年度 「健口生活メニューテキスト ～学ぶ世代編～」 （※学ぶ世代：6～14 歳）</p>			

講習会（世代別）の開催

平成 18 年度 稔る世代対象：5 回

平成 19 年度 稔る世代対象：5 回、

学ぶ世代対象：1 回（小中学校養護教諭及び学校栄養職員対象）

※平成 20 年度予定：働き盛りの世代（25～44 歳）・熟す世代（45～64 歳）対象

【今後の課題】

8020 運動のさらなる普及啓発には、歯科分野だけからの情報発信だけでは限界があり、昨今注目されている「食育」、「介護予防」等の食・健康増進分野に係わる団体と積極的に連携体制をとり、活動拠点や活動分野・範囲等を拡大し、継続していく必要がある。

事業実施者名	香川県	人口	1,019 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	青少年の歯牙外傷予防及び競技力向上に対するデンタルサポート事業		
予算	<p>【予算額】平成 18 年度 3,753 千円、平成 19 年度 約 3,190 千円、平成 20 年度 4,946 千円</p> <p>【予算分類】国庫補助 [補助率 10/10]</p> <p>【国庫補助・助成金事業名等】8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)</p>		
実施方法	全委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校保健分野における安全対策とスポーツ振興を組合わせた新しい 8020 運動 ・ 歯科保健対策のアプローチの機会が乏しい青少年層に対する歯・口腔の包括的な健康管理を目的とする事業 		
<p>【事業目的】</p> <p>コンタクトスポーツ時のマウスガード装着を普及することは、歯牙外傷予防により競技の安全性が高まることはもとより、スポーツ力・競技力向上の支援にもつながり、スポーツ振興に寄与する。また、歯科医がスポーツデンティストとして関わることで、歯科保健対策のアプローチの機会が乏しい青少年層に対して、外傷予防から歯科疾患予防まで歯・口腔の包括的な健康管理が可能となり、生涯を通じた歯の健康づくりにつなげることが可能となる。</p> <p>そのため、青少年のコンタクトスポーツによる歯牙外傷予防及び競技力向上の支援のために、カスタムメイドのマウスガードの普及啓発を図る。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 18 年度開始</p> <p>2. 実施体制 歯科医師会、協力体制として教育委員会及びスポーツ競技団体・学校</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） コンタクトスポーツ競技をしている高校生</p> <p>4. 内容 講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 競技者、指導者、学校関係者、保護者対象 歯牙外傷予防及び競技力向上に対するマウスガードの有効性についての講習会を開催。 ・ 歯科医師対象 カスタムメイドのマウスガードの製作及びスポーツデンティストの基礎知識等についての講習会を開催。 <p>マウスガードの製作・配布・管理(調整)及び追跡調査（装着者対象） 対象チーム（スポーツ）選定のためのアンケートを実施。研修を受講した事業参加協力歯科医院においてカスタムメイドのマウスガードを製作・配布し、歯科保健指導も含めたフォローアップ（調整）を実施。装着状況等についての追跡調査を行い、有効性についての評価を併せて実施。</p>			

支援活動に関する実態調査（歯科医師対象）（平成19年度）

歯科医師に対して、コンタクトスポーツ競技者等への支援活動の実態把握のための調査を行い、評価。

カスタムメイドのマウスガード等の学校配布による普及啓発（平成20年度予定）

スポーツをしている生徒・指導者、さらに、養護教諭を始めとする学校関係者に対して、マウスガードに対する認識や歯牙外傷予防の重要性についての理解を深めてもらうため、県下の全高等学校を対象に、カスタムメイドのマウスガード（実物）をサンプルとして配布し、併せて歯牙外傷予防及びマウスガードの効果に関するテキストも配布することで、学校内における歯牙外傷予防及びマウスガードの普及啓発の働きかけを実施。

支援体制の協議・検討（平成19年度～）

コンタクトスポーツ競技者・指導者、学校関係者、歯科医師、歯科医師会、教育委員会、専門家（オブザーバー）等の関係者を構成メンバーとして、マウスガード装着の普及啓発、歯科医師による支援活動・支援体制のあり方や今後の方向性等について、追跡調査及び支援活動の状況等も踏まえて協議・検討を行う意見交換会を開催。

5. 結果

平成 18 年度・19 年度実績

講習会の開催

平成 18 年度 指導者等対象：1 回、歯科医師（歯科技工士・歯科衛生士等含む）対象：3 回

平成 19 年度 指導者等対象：1 回、歯科医師（歯科技工士・歯科衛生士等含む）対象：1 回

マウスガードの製作・配布・管理(調整)

平成 18 年度 対象競技種目：ラグビー、ボクシング、ホッケー、野球、空手（16 チーム）

装着者数 198 人、協力歯科医院 68 機関（登録 141 機関）

平成 19 年度 対象競技種目：ラグビー、バスケットボール（22 チーム）

装着者数 163 人、協力歯科医院 64 機関（登録 163 機関）

支援体制の協議・検討

平成 19 年度 意見交換会の開催：1 回（構成 14 人）

【今後の課題】

本事業の対象者及び対象スポーツを拡大して、更なるマウスガードの普及啓発が必要である。また、マウスガードの調整や口腔衛生管理等の適切なフォローアップができるように、歯科医の技術力の向上とともに、歯科医によるスポーツ振興のための支援体制のあり方等をさらに検討し、体制整備を図っていく必要がある。

事業実施者名	愛媛県	人口	1,472 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	若者の歯と食生活改善事業		
予算	【予算額】 平成 19 年度 1,332 千円、平成 20 年度 1,332 千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	全委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> 愛媛県歯科医師会と愛媛県食生活推進員の団体（愛媛県食生活改善推進協議会）との協働事業 		
<p>【事業目的】</p> <p>ライフスタイルの変化や価値観・ニーズの多様化等により、健全な生活習慣が失われつつあり、朝食の欠食、脂質の過剰摂取、野菜の摂取不足など食習慣の乱れや歯周疾患の低年齢化などの問題が生じている。また、平成19年3月県食育推進計画が策定され、今後の本県での食育推進の方向性が示された。このような中で、若者が今後健康で充実した人生を送るために、今一度、自らの食生活や歯科等の生活習慣を省みて、正しく実践できる能力を身につけることが重要である。</p> <p>そこで、食生活を中心とした健康づくりボランティア活動を実施している食生活改善推進連絡協議会と歯科を通じて県民の健康づくり活動を支援している社団法人愛媛県歯科医師会が協力し、地域に密着した若者の歯と食生活改善活動事業を展開し、正しい生活習慣に対する意識と実践力の向上を目指す。</p> <p>【事業概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 開始年度及び終了年度（予定） 平成 19 年度開始、平成 21 年度終了予定 実施体制 愛媛県歯科医師会及び愛媛県食生活改善推進連絡協議会 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 県内高等学校の生徒（5 校程度 1 校 30 人程度） 内容 講話（朝食や野菜の摂取、食事バランスガイドを用いた食事チェック）及び調理実習、アンケート等 担当：愛媛県食生活改善推進連絡協議会 講話（歯周病、歯と食育、噛むことの大切さ）及びブラッシング指導、アンケート等 担当：愛媛県歯科医師会 結果 平成 19 年度は 5 校計 169 人の高校生を対象に実施 平成 20 年度は 6 校を予定 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業の効果について、追跡調査をどうするか。 現在国費事業にて実施しているが、今後 0（ゼロ）予算事業として 2 団体にやっていただけるような体制づくりの構築。 			

事業実施者名	高知県	人口	784 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	歯周病・糖尿病クリティカルパスモデル事業		
予算	【予算額】 平成 20 年度 約 2,900 千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	全委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> モデル企業を対象に医科・歯科診療との情報共有をはかる。 		
<p>【事業目的】 成人期における歯周疾患予防対策への普及啓発を図る。</p> <p>【事業概要】 糖尿病をはじめとする生活習慣病の予防には本人の疾病に対する知識と予防するための行動が必要となる。そのツールとしてデンタルパスポート・ブルー（歯科手帳）を作成し、「自らの身体は自らが守る」という意識のもと行動変容を促すことを目的として、モデル企業を対象に医科・歯科診療との情報共有をはかる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 開始年度及び終了年度（予定） 平成 20 年度開始、平成 21 年度終了予定 実施体制 県が高知県歯科医師会に委託して実施 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 働き盛りの年代 内容 研修会：1 回 検討会：3 回 事前調査：4 回 健診・保健指導：4 回 フォロー・アップセミナー：1 回 デンタルパスポート・ブルー作成 結果 平成 20 年度からの事業のため省略 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歯科保健、医療、福祉の連携 歯周疾患予防として早期からの取り組み及び展開 歯周疾患と生活習慣との繋がりについての県民への動機づけ及びかかりつけ歯科医の普及 			

事業実施者名	高知県	人口	784 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	新 8 0 2 0 運動実践者養成事業		
予算	【予算額】 平成 20 年度 約 250 千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	全委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民が参加し住民が支える運動となるよう地域の推進力となる人材を養成 		
<p>【事業目的】 各世代に特化した歯と口の健康への取組により 8 0 2 0 運動を展開させる。</p> <p>【事業概要】 新たに「8 0 2 0 の町（里）づくり人づくり」を推進する。地域住民による 8 0 2 0 運動を推進し、地域でのリーダー養成をおなうために市町村の歯科保健関係者へのワークショップを開催し新 8 0 2 0 運動の展開につなげる。</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 20 年度のみ</p> <p>2. 実施体制 県が高知県歯科医師会に委託して実施</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） すべての住民（在宅高齢者）</p> <p>4. 内容 研修会</p> <p>5. 結果 平成 20 年度の事業のため省略</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯周疾患予防として早期からの取り組み及び展開 ・ 歯周疾患と生活習慣との繋がりについての県民への動機づけ及びかかりつけ歯科医の普及 ・ 高齢者の口腔ケアについて、口腔機能向上など介護予防という視点からの取り組み展開 			

事業実施者名	佐賀県	人口	865 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	ビデオマニュアル整備・啓発事業		
予算	【予算額】 平成 16 年度 4,130 千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	全委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> 佐賀県において取組みがなかなか進まない「学校のフッ化物洗口」「成人の歯周疾患健診」「介護予防の口腔ケア」の 3 テーマ毎に、マニュアルをよりわかりやすくするため「ビデオ」化した。 		
<p>【事業目的】</p> <p>必要性が高いにも関わらず、誤った情報や意識の低さから取組みが進まない「学校のフッ化物洗口」「成人の歯周疾患健診」「介護予防の口腔ケア」について、科学的根拠に基づいた歯科保健サービスのビデオマニュアルを整備すると共に、これらの分野の啓発を行い、生涯を通じた歯科保健医療対策の推進に資する。</p> <p>【事業概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 開始年度及び終了年度（予定） 平成 16 年度のみ 実施体制 佐賀県歯科医師会委託 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 学校、市町村、事業所、医療機関、老人保健福祉施設等 内容 <ol style="list-style-type: none"> ビデオマニュアルの作成 「学校のフッ化物洗口」「成人の歯周疾患健診」「介護予防の口腔ケア」のテーマごとに各 100 本作成した。 歯科保健サービスの啓発 歯科医師が学校、市町、事業所、医療機関、老人福祉施設等の約 100 箇所へ出向きマニュアルを使用し、出前講座を行った。 結果 ビデオはリアルに再現できるため内容が分かりやすく、学校関係者がフッ化物洗口に、市町や事業所関係者が歯周疾患健診に、市町や福祉施設関係者が口腔ケアに取り組むためのモチベーションとなった。 また、出前講座で歯科医師の解説が加わることで、各関係者により一層歯科保健の重要性が認識された。 <p>【今後の課題】</p> <p>関係者の協力により、小学校におけるフッ化物洗口は普及定着してきたが、歯周疾患対策と口腔ケアについての取組みが進んでいないのが現状である。 このビデオマニュアルの活用他、県民への歯周疾患及び口腔ケア対策の啓発が必要である。</p>			

事業実施者名	佐賀県	人口	865 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	特定健康診査と連携した成人の歯周疾患対策事業		
予算	【予算額】 平成 20 年度 1,936 千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	全委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科健診を特定健康診査と同時実施し、歯科健診受診率の拡大を図ると共に、歯周疾患とメタボリックシンドロームとの関連を検証することで、今後の歯周疾患及び生活習慣病予防対策に活用する。 		
<p>【事業目的】 モデル市町において、特定健康診査と歯周疾患健診を同時実施する場合の方法や課題等について検討し、取り組みやすい環境・体制を整備する。</p> <p>【事業概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 20 年度のみ 2. 実施体制 佐賀県歯科医師会委託 3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 歯周疾患高リスク者、特定健康診査対象者 4. 内容 モデル市町との事業実施検討会の開催 モデル市町の実施する特定健康診査時に歯周疾患健診を実施 結果とメタボリックシンドロームの関連について検証 5. 結果 平成 20 年度の事業のため省略 <p>【今後の課題】 特定健康診査と歯周疾患健診を同時実施するにあたり、特定健康診査の実施主体である医療保険者等の理解が必要になるため、この結果をもとに同時実施の有効性について説明を行うことが必要になる。</p>			

事業実施者名	佐賀県	人口	865 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	元気老人の食機能実態調査		
予算	【予算額】 平成 20 年度 3,087 千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	全委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者のうち比較的元気な高齢者を対象とし、現在の口腔・食機能の状況と食習慣についての実態調査を行い、今後の高齢者歯科保健対策をより効果的な内容にすることができる。 		
<p>【事業目的】</p> <p>いつまでも自分の歯で食べることのできる“元気老人”を増やすことは、身体機能の維持につながり、ひいては介護予防の視点からも非常に重要である。</p> <p>このため、高齢者の食機能及び食育の実態を把握すると共に、食育の支援体制及び関係者による高齢者歯科保健の整備を図る。</p> <p>【事業概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 20 年度のみ 2. 実施体制 佐賀県歯科医師会委託 3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） ケアハウス、有料老人ホーム、地域の老人クラブ等比較的元気な高齢者 4. 内容 ケアハウスや有料老人ホーム、地域の老人クラブなどの“元気老人”を対象に口腔内と食習慣に関する実態調査を行い、その結果をふまえ事後指導を行う。 事前アンケート調査（口腔内や歯科受診等にかかるもの） 実態調査（歯科健診及び事後指導） 5. 結果 平成 20 年度の事業のため省略 <p>【今後の課題】</p> <p>本実態調査結果を踏まえつつ、市町等の行う口腔機能向上プログラム等介護予防事業の活用も視野に入れ、口腔ケア等の普及啓発のため、市町や高齢者福祉施設等関係機関・団体との連携強化がさらに必要となる。</p>			

事業実施者名	佐賀県	人口	865 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	e - s m i l e キャンペーン		
予算	【予算額】 平成 15 年度 3,616 千円、平成 16 年度 1,710 千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	全委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯等、I T 活用することで、対象の関心を高めることができ、かつ気軽に参加することができる、同時に多数への啓発が可能である。 		
<p>【事業目的】 20 歳代、30 歳代では、歯石除去やブラッシング等により健康な歯ぐきを取り戻すことができると思われる。そこで、歯への関心が低く、日ごろ歯科健診を受ける機会の少ない若い世代を対象に、口腔に対する興味と歯科健診受診の意識づけを行う。</p> <p>【事業概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開始年度及び終了年度 (予定) 平成 15 年度開始、平成 16 年度終了 2. 実施体制 佐賀県歯科医師会へ委託 3. 対象者 (ターゲットとする年齢、職業等) 20～30 歳代の若い世代 4. 内容 e - m a i l システムの整備 携帯電話のメール及び画像の受信、メルマガの配信システムを整備した e スマイルコンテスト カメラ付き携帯で撮影された笑顔の写真を募集した (281 名参加) 投票 (999 名) ののち、表彰を行った (ベスト e - s m i l e 賞) メルマガの配信 コンテストで取得したメールアドレス (1280 名) に歯科保健情報を配信 歯科健診の受診勧奨を行った 5. 結果 携帯電話を利用することで、若い世代の興味を引くことができ、生活に密着した普及啓発ができた。 時間や場所を気にせず、一度に多数を対象とした合理的な情報収集、提供が図られた。 本事業を開始後、歯科健診の受診者や歯科保健に興味を持つ者が増えた。 <p>【今後の課題】 I T を活用した本事業により、合理的な啓発の方法が構築されたが、継続できていない。財政も含め、体制整備等の継続について検討が必要である。</p>			

事業実施者名	佐賀県	人口	865 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	8020 チャレンジ禁煙サポート事業		
予算	【予算額】 平成 17 年度 4,430 千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	全委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な禁煙指導ができる歯科専門職を養成し、協力歯科医療機関において希望するものに継続的な禁煙指導を行った。 		
<p>【事業目的】 喫煙は歯周疾患および歯の喪失の大きなリスクファクターであることから、歯科医療機関において、通院の機会を利用し、治療と平行して禁煙サポートを行い、歯周組織の改善や歯周疾患の再発防止を図る。</p> <p>【事業概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 開始年度及び終了年度（予定） 平成 17 年度のみ 実施体制 佐賀県歯科医師会委託 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 歯科治療中で禁煙を希望する患者 内容 協力歯科医療機関（10 箇所）の歯科医師、歯科衛生士が、喫煙している患者に対し禁煙を勧奨し、禁煙を希望した患者には、来院（歯科治療のため）する度に行動療法、薬物療法等について適切なアドバイスを行う。 結果 事業実施期間（4 ヶ月）に 100 名の患者が禁煙を希望し、そのうち 35 名が期間内に禁煙を達成し、禁煙継続中患者とあわせ 77 名が禁煙に取り組んだ。 喫煙は口腔内に目に見える影響を及ぼすので、日常的に患者の口腔内を観察している歯科医師、歯科衛生士は禁煙を勧めやすい立場にあり、かつ喫煙者も潜在的に禁煙を希望している方が少なくないため、歯科で禁煙を勧められて、禁煙に取り組むきっかけになったものと思われる。 <p>【今後の課題】 禁煙を希望する者が気軽に相談でき、サポートが受けられる環境整備が必要。</p>			

事業実施者名	佐賀県佐賀中部保健所	人口	356 千人 (佐賀市 237 千人、多久市 23 千人、 小城市 47 千人、神崎市 34 千人、 吉野ヶ里町 16 千人) (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	学校との連携による地域歯科保健事業 (衛星保健所健口計画) <small>サテライト けんこう</small>		
予算	【予算額】平成 14 年度 2,146 千円、平成 15 年度 1,884 千円 【予算分類】国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	直接		
特色のある点	・ 学校との連携による小学校を中継した効果的、効率的な地域への情報発信		
<p>【事業目的】</p> <p>全ての子どもが通う小学校は、生涯を通じて地域保健を推進するための重要な拠点であり、地域への情報発信の場と位置づけられる。</p> <p>そこで、保健所から発信した情報が、小学校を中継することにより、効率的効果的な地域への情報発信となるよう試みた。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度 (予定) 平成 14 年度開始、平成 15 年度終了</p> <p>2. 実施体制 佐賀中部保健所</p> <p>3. 対象者 (ターゲットとする年齢、職業等) 小学校児童及びその保護者</p> <p>4. 内容 学校保健関係者事業説明会及び結果報告会 (4 回) 事業のすすめ方検討会 (5 回) 情報の発信 児童への指導内容を歯科保健ノートにまとめ、家庭へ発信した。 歯科についての情報「ピッカリくん通信」を学校及び児童を通じて家庭へ発行した。 (第 1 号～第 10 号)</p> <p>情報発信の評価 う蝕活動性試験など科学的検査を取り入れて、児童への理解を深め、その結果を家庭へ情報発信し、返信により伝達の確認をした。 歯科保健意識調査の実施 児童及び保護者、教職員に対し、歯科保健意識に関するアンケート調査を実施し、事業開始前の調査結果と比較した。</p>			

5. 結果

保健所が実施した歯科保健指導や情報発信は、児童を通じ 9 割以上の保護者に伝え、さらに家庭における歯科に関する話題を増やすことができた。また、保護者や教職員の歯科保健全体に関する意識を高めることができた。

【今後の課題】

本事業実施にあたり、小学校を中継としたが、保育所・幼稚園、中学校、高等学校、事業所等を経由し、地域への情報発信ができるような地域の体制整備とそのため関係機関の理解が必要である。

事業実施者名	佐賀県唐津保健所	人口	139 千人 (唐津市 132 千人、玄海町 7 千人) (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	保育所等におけるう蝕予防支援事業 ～唐津歯っぴーエンゼル作戦～		
予算	【予算額】平成 10 年度 2,021 千円、平成 11 年度 1,934 千円 【予算分類】国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助事業名・助成金事業名等】母子保健強化推進特別事業		
実施方法	直接		
特色のある点	・ モデル保健所管内の保育所及び幼稚園において歯科保健実態調査を行い、保育所等歯科衛生士を 11 名設置し、各保育所等に巡回指導を行った。		
<p>【事業目的】 本事業をモデル的に実施し、保健・医療・福祉の連携を図り地域歯科保健を推進する。</p> <p>【事業概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 開始年度及び終了年度（予定） 平成 10 年度開始、平成 11 年度終了 実施体制 唐津保健所 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 保育所、幼稚園 内容 対策協議会の開催（年 1 回程度） 保育所・幼稚園における歯科保健実態調査（平成 10 年度、54 施設 1,007 人） う蝕予防指導能力開発講座（平成 10 年度、受講者 75 人） 保育所歯科衛生士のネットワーク会議（平成 11 年度） 保育所等歯科衛生士の設置（11 名）及び巡回指導、健康教育 結果 歯科衛生士が主体的に保育所・幼稚園において歯科保健指導を実施するという「保育所等歯科衛生士」を設置し、そのネットワーク化を図ることで情報交換や問題点の検討ができた。 保育所等歯科衛生士の定期的な巡回指導により園児や保護者の歯科保健への関心が高くなってきたこともあり、特に施設側の歯科保健の必要性に加え、保育所歯科衛生士の役割や必要性への理解が深まった。 事業の実施にあたり、地元歯科医師会や保育所・幼稚園、市町村等の関係機関の協力が得られ、保健所を中心とした関係機関の連携が強化された。 保育所等歯科衛生士によるネットワークと関係機関との連携等が要因となり、市町におけるフッ化物洗口や市町によるフッ化物塗布の実施数が大幅に増加した。 <p>【今後の課題】 効果的なう蝕予防活動が実施できるよう、歯科保健目標や歯科保健プログラムの提案をしながら、フッ化物洗口の指導並びに保育所等における取組みについて歯科衛生士による指導助言を継続実施する。</p>			

事業実施者名	長崎県	人口	1,469 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	平成 17 年度 歯なまる県産品普及啓発事業 平成 18 年度 歯なまる県産品活用口腔機能評価事業 平成 19 年度 歯なまる県産品連携事業		
予算	【予算額】平成 17 年度 9,000 千円、平成 18 年度 2,000 千円、 平成 19 年度 7,000 千円 【予算分類】国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	全委託		
特色のある点	・ 県産品を活用した食育に関する事業		
<p>【事業目的】</p> <p>これまで、う蝕や歯周病などの疾病を中心に考えられがちだった歯科保健をより広く知ってもらうため、県産品を活用し噛むことの大切さを強調した普及啓発により、食を通じた歯科保健活動を県民に PR し、8020 運動につなげる。</p> <p><平成 17 年度></p> <p>県産品のかまぼこを使い、健康づくりの基準として噛むことができることを目安とし、歯科保健と県産品を抱き合わせた PR を行なうとともに、関係者の意識の向上を図る。</p> <p><平成 18 年度></p> <p>食材（県産品）のかたさと咀嚼時の筋活動量を測定し、その結果を基に噛みごたえを健康指標とし、歯科保健への関心を高められるよう県民にわかりやすく提示する。</p> <p><平成 19 年度></p> <p>噛みごたえについて県民へわかりやすい展開ができるように、食の関係団体と連携して協力体制を構築し、食を通じた地域における歯科保健活動を強化する。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度 平成 17 年度開始、平成 19 年度終了</p> <p>2. 実施体制</p> <p><u>平成 17 年度</u> 長崎県歯科医師会 長崎蒲鉾水産加工業協同組合 長崎県歯科衛生士会 長崎大学</p> <p><u>平成 18 年度</u> 長崎県歯科医師会 長崎蒲鉾水産加工業協同組合 長崎大学 長崎シーボルト大学 長崎県栄養士会</p> <p><u>平成 19 年度</u> 長崎県歯科医師会 長崎大学 長崎県栄養士会 長崎県歯科衛生士会 大型スーパー</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 県民</p>			

4. 内容

平成17年度 歯なまる県産品普及啓発事業

県産品のかまぼこを使い、健康づくりの基準として噛むことができることを啓発

- ・ 8020川柳の募集
- ・ 水産加工業者への歯科保健の研修会
- ・ 各種イベント等でのPR活動
- ・ かまぼこの弾力値測定・咀嚼実験

平成18年度 歯なまる県産品活用口腔機能評価事業

さまざまな食材（県産品）のかたさと噛むときの筋活動量を測定し、結果をグラフ化してポスターなどの啓発教材を作成

平成19年度 歯なまる県産品連携事業

「噛むことができる＝健全な口腔機能の維持」をコンセプトに、栄養士会・スーパーと連携した啓発（県産品を活用し、小学生をターゲットにした噛みごたえのよいレシピ集の作成、スーパーでの啓発）

5. 結果

平成17年度実績 歯なまる県産品普及啓発事業

8020川柳の募集

応募総数378点 最優秀賞1点 優秀賞3点 佳作20点を表彰

水産加工業者への歯科保健の研修会

1回 40名参加

各種イベント等でのPR活動

長崎県水産加工振興祭（3日間）での歯科医師によるセミナー、8020 かまぼこの指定

平成18年度実績 歯なまる県産品活用口腔機能評価事業

県産品テクスチャー測定試験

19品目の食材（県産品）のかたさ測定

筋活動量測定試験

19品目の食材（県産品）の咀嚼時筋活動量を26名の被験者により測定

啓発用ポスターの作成

2つの測定試験結果を基にした、噛みごたえ早見表を掲載

平成19年度実績 歯なまる県産品連携事業

県産品を活用した噛みごたえのよいレシピ集の作成

審査会を実施し、小学生をターゲットにした料理11品を掲載

大型スーパーと協力した普及啓発

噛みごたえのよい食材、レシピ集等展示ブース設置 8店舗

歯科保健・栄養についての講演、噛みごたえのよい料理の試食 2店舗

【今後の課題】

噛みごたえをテーマに、蒲鉾水産加工業協同組合や栄養士会、大型スーパーと連携した事業を展開することで、これまでより啓発活動の場所・対象者に広がりが見られ、口の健康づくりの重要性をPRできた。アンケートでは、このような連携事業を効果的であるとする回答が多く、県民の興味を引きやすいことがわかった。

しっかり噛んでゆっくり食べることが肥満の解消や予防、生活習慣病予防につながることから、今後もレシピ集等を活用して歯科医師会、栄養士会等と連携し、小児期からの食育・口の健康づくりについて機会を捉えて継続した普及啓発を実施する。

事業実施者名	熊本県	人口	1,845 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	青壮年期の歯科疾患削減モデル事業		
予算	【予算額】 平成 19 年度 6,274 千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	全委託		
特色のある点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国で初めて行われた早産予防事業の一環として、歯科と産婦人科が診療所連携を行った取組みであること ・ 歯科医師会、医師会、医学部、行政の連携による事業 		
<p>【事業目的】</p> <p>歯周病が急増する青壮年期を中心に事業所・妊婦を対象とした歯科保健推進体制をモデル的に実践し、青壮年期の歯科疾患の減少を図るための方策を検討し、県下に普及する体制を構築することを目的とする。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 19 年度のみ</p> <p>2. 実施体制</p> <p>(1) 事業者就業者の歯周病予防（熊本県歯科医師会、菊池郡市歯科医師会）</p> <p>(2) 妊婦の歯周病対策による早産予防（熊本県歯科医師会、天草市歯科医師会） 熊本県歯科医師会に委託。(2)は、絨毛膜羊膜炎対策モデル事業（熊本大学医学部、天草市産科医療機関）、絨毛膜羊膜炎や歯周病予防に着目した妊婦の生活指導（天草市、熊本県天草保健所）と連携しながら早産予防を一体的に実施した。</p> <p>3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等）</p> <p>(1) 菊池地域の事業所の就業者</p> <p>(2) 天草地域で産婦人科を受診した妊婦</p> <p>4. 内容</p> <p>(1) モデル事業所における歯科健診・指導 実施内容：歯科健診・歯科保健指導、地域検討委員会の開催</p> <p>(2) モデル地域における妊婦の歯科健診・指導 実施内容：歯科健診・歯科保健指導、地域検討委員会の開催</p> <p>(3) 青壮年期における標準的な歯科健診・指導マニュアル作成 マニュアル作成委員会の開催</p> <p>5. 結果</p> <p>(1) モデル事業所（菊池地域）における歯科健診・指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科健診：2 回（延 4 日）、受診者数延 108 名 ・ 個別歯科保健指導：対面指導（受診者数 58 名）、通信指導（FAX による指導 58 名） ・ 地域検討委員会：4 回 			

(2) モデル地域（天草地域）における妊婦の歯科健診・指導

対象者：天草地域（圏域）の妊婦500名程度

実施内容

- 妊婦歯科健診：天草郡市歯科医師会会員診療所で実施
回数等 事業開始時1回、指導後評価のため1回の計2回の受診者数：132名
※1回のみ受診者数：158名
- 個別指導：天草郡市歯科医師会会員診療所で実施
歯科衛生士が歯科健診実施時にあわせて対面指導を実施
- 地域検討委員会（4回）
構成委員：天草郡市歯科医師会、天草地区産婦人科病院、天草地区市町村、
天草保健所、熊本県歯科医師会、熊本大学、熊本県

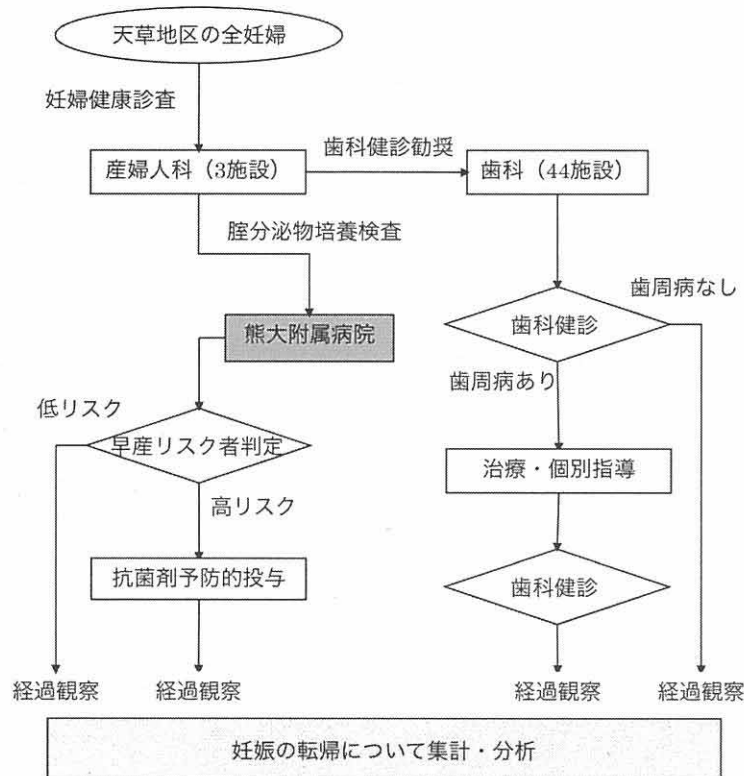
(3) 青壮年期における標準的な歯科健診・指導マニュアル作成

※ 今回の検討では地域における妊婦の歯周病の実態を明らかにすることができた。1回目と2回目の健診の間に受診者の動機付けができた事による改善傾向が認められた。歯周病の程度と出産との関係については妊娠の転帰についての集計・分析に基づき検討される予定。

【今後の課題】

本県の重点施策「くまもと健康・長寿づくり」の1つとされた成人期の歯周病予防対策として、歯周病と全身の健康状態との関係、歯周病が心臓病、糖尿病等他の生活習慣病、早産の危険因子であることについて県民に周知を図るとともに、地域の歯科関係者や内科医、産婦人科医等と連携を図り、歯周病のハイリスク者の支援体制を整備していくことが課題である。

モデル地域における早産予防事業の流れ



事業実施者名	鹿児島県	人口	1,739 千人 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
事業名	歯周病予防対策事業		
予算	【予算額】 平成 20 年度 3,437 千円 【予算分類】 国庫補助 [補助率 10/10] 【国庫補助・助成金事業名等】 8020 運動推進特別事業(医療提供体制推進事業費補助金)		
実施方法	全委託		
特色のある点	・ 医科歯科連携を目的とした事業であること		
【事業目的】 歯周病と全身疾患に関する知識の啓発を行うとともに糖尿病と歯周病治療における医科歯科連携体制を構築する。			
【事業概要】 1. 開始年度及び終了年度（予定） 平成 20 年度開始、平成 21 年度終了予定 2. 実施体制 事業受託機関による実施 委託先：(社) 鹿児島県歯科医師会（メタボリックシンドローム対策連携構築事業，8020 運動県民公開講座） (社) かごしま口腔保健協会（歯周病と全身疾患リーフレット作成・配布） ただし、メタボリックシンドローム連携対策事業については、関係機関（大学，県歯科医師会，県歯科衛生士会，県医師会，県栄養士会，行政）からなるワーキンググループを設置し，実施方法等を検討。 3. 対象者（ターゲットとする年齢、職業等） 一般県民（ただし、メタボリックシンドローム連携対策事業については，糖尿病及び中等度以上の歯周疾患に罹患している患者） 4. 内容 (1) 8020 運動県民公開講座 歯周病に関する最新の情報について広く県民に普及啓発を行い，定期的な歯科医院受診の重要性について理解を促進することにより，県民の口腔保健の向上を図る。 (2) 歯周病と全身疾患リーフレット作成・配布 歯周病と全身疾患についてのリーフレットを作成・配布し，歯周病と全身疾患に関する知識の啓発を行う。 (3) メタボリックシンドローム対策連携構築事業 メタボリックシンドローム（主に糖尿病）の発症に歯周病がいかに関わっているか症例を確認し，医科歯科の連携治療方法について検討するため，専門家によるワーキンググループを設置する。さらには，糖尿病医と歯科医の連携治療を実施し，具体的な連携体制を構築する。 5. 結果 平成 20 年度からの事業のため省略			
【今後の課題】 なし			